

児童発達支援事業における自己評価結果（公表）

公表：令和8年2月16日

事業所名：君津郡市広域市町村圏事務組合 児童発達支援センター きみつ愛児園

保護者からのご意見を踏まえ、運営における課題点及び改善点を確認し、今後の運営に生かしていきます。

	チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など	改善すべき点を踏まえた改善内容、工夫している点など
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等に対して適切なスペースであるか。	○			設備基準を満たした指導室、遊戯室を確保している。その他に66平方メートルの集会室もあり、各クラスで工夫しながら利用している。
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		・職員の人数が足りてないと思う ・全てが適切じゃないとは思わないが、職員を多めに配置した方が好ましいところでも最低限の配置数になってしまっている。	設置基準を上回る人員を確保している。また、正職員の看護師、管理栄養士各1名を配置している。
	3 生活空間は、この部屋で何をするのかを示せるように、机や本棚の配置など、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、当園の設備等は、障がいの特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○			園児が次に行う動作や支度がわかるように、視覚支援を取り入れて工夫している。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		・建物が古いため、仕方がないことだが清潔さ、衛生面は気になる	お手洗いや指導室等を毎日清掃、消毒することで、清潔で過ごしやすい環境づくりを行っている。こども達の活動に関しては、安全にのびのびと活動できるように園庭整備を年6回実施している。
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することができる環境になっているか。	○			個別療育の際は園児と先生職員が1対1になるように配慮している。
業務改善	6 業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○			日々の支援において、クラス担任を中心に話し合い、週に一度の全体療育会議で振り返りや改善点を話し合っている。また、人事評価制度の中でも目標設定、達成度の評価を行い、業務改善に役立てている。
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・今回のアンケートが該当している	毎年、保護者からの事業所評価を行い、結果をホームページへ公表している。
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○			週に1回療育会議を開催し、職員で話し合う場を設けている。
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		第三者による外部評価は行っていない。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や当園内で研修を開催する機会が確保されているか。	○		・復命会や感染症研修の実施など	外部オンライン研修のほか、講師を招いての内部研修の機会も増やしており、研修終了後には復命会を行っている。また、委託している理学療法士や作業療法士の指導見学や、摂食指導時の医師カンファレンスなども研修と同様の効果を上げている。
適切な	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○			職員への意見を集約して支援プログラムを策定し、その内容をホームページで公表している。
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画を作成しているか。	○			個々の支援内容について、計画を作成する際に面談で説明のうえ、同意を得ている。また、電話でも随時相談対応を行っている。
	13 個別支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○			作成時に支援会議を行い、情報共有に努めている。計画作成前の保護者面談の際に担任職員も同席の上で個別支援計画の立案を行っている。
	14 個別支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		・クラス職員間での共有はできているが、他クラス同士での共有はしていない。	作成した支援計画は担任と共有し、担任はそれに基づいた療育を提供している。また、個々にケース記録を作成し、情報を職員間で共有できるように努めている。
	15 こどもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか。	○			入園時に、保護者にポータルページに沿って発達状況を確認してもらう。また、面談を通して、家庭での仲長も確認している。
	16 個別支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○			ガイドラインを踏まえながら、保護者との面談を行い、具体的な支援内容及び達成目標時期を設定している。

支 援 の 提 供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○			全クラスが複数の担任制であるため、リーダーを置き、設定ごとのチーム単位で内容の検討を行っている。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○			発達段階に配慮したうえで、担当職員が1ヶ月を単位として固定化しないように工夫している。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる個別支援計画を作成し、支援が行われているか。	○			個々の発達を踏まえながら、適した活動を取り入れた個別計画を作成している。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○			朝と夕に打合せを行い、支援内容の確認や振り返りを実施している。 なお、打合せの欠席者については、パソコンをツールとし、内容が共有できるように努めている。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○			朝と夕に打合せを行い、支援内容の確認や振り返りを実施している。 なお、クラス毎での振り返りを実施している。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○			個々のケース記録をつけ、クラス担任内で共有し、支援の検証や改善点などを話し合い、記録している。
	23	定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○			個別支援計画は最低6カ月に1回、見直しの必要がある際には都度、実施している。
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○			担任など、本人の状況に精通した職員が参画している。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障がい福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○			近隣4市の保健福祉関係部門や基幹相談支援センターなどと連携し、支援を行っている。
	26	事業所等への併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○			他保育園との併行利用者へは保育園への情報提供を行いながら、実際に園での様子をクラス担任が見学し、支援内容や相互理解を図っている。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○			該当児の保護者に情報共有について了承を得た上でやっている。 なお、小学校については訪問や電話で、支援学校については来園して情報共有がある。
	28	地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	○			他の児童発達支援事業所等と連携しており、研修や訓練などの情報交換を行い、事業所運営の質の向上に努めている。
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	○		・摂食指導やPT、OTなど	外部講師を招いて職員研修を実施するとともに、外部研修にも積極的に参加している。
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域のこども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	○			所長、副所長、主幹が可能な限り参加している。
	31	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	○		・交流保育を実施している	定期的に市内の公立保育園（2園）と交流を行っている。
	32	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○			おたより帳にて保護者と共有をしているが、内容により、口頭の方が伝わりやすい場合は電話でも対応している。なお、親子通園のクラスについては日々、対話をしている。
	33	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		・研修は行っていない	ペアレント・トレーニングは取り入れていないが、日常の様子をおたより帳にて共有し、面談や電話相談を通じて保護者に対する家族支援を行っている。また、保護者が参加できるお知らせがあれば配布している。
34	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○			入園時にわかりやすく丁寧に説明している。	

保護者への説明等	35	個別支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○			定期的に担任と保護者間との面談を実施し、日常の様子を伝え、保護者の意向を確認して個別支援計画にも反映している。
	36	「個別支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から個別支援計画の同意を得ているか。	○			定期的な面談で説明を行い、同意を得たうえで計画を作成している。
	37	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○			おたより帳に相談があればコメントで返事し、電話での対応も行っている。また、要望があれば直接、面談も行っている。
	38	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○			今年度は、保護者同士の交流する機会として「卒園児保護者講演会」を企画・実施した。
	39	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○			保護者からの申し入れに対しては、全体で協議のうえ、速やかに対応している。
	40	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○		・メール配信にて実施	毎月、おたより「なかよし」で各種情報発信を行うとともに、不定期のお知らせも発信している。
	41	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○			規程に基づき取り扱っている。なお、外部に情報提供する場合は保護者の同意の上で行っている。
	42	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○			言葉のみではなく、身振りや絵カードなどの視覚支援も行いながら取り組んでいる。
	43	きみつ愛児園の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○		毎年、地域のロータリークラブやライオンズクラブとクリスマスにサンタ・イベントを行っている。
非常時等の対応	44	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○			それぞれマニュアルを策定し、適宜、見直しを行いながら子どもたちが安全に過ごせるよう努めている。
	45	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○			業務継続計画（BCP）は策定済み。定期的に備蓄の確認や避難等の訓練を行っている。
	46	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	○			入園前に必ず確認し、在園中についてもその都度確認をしている。
	47	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○			食物アレルギーがある場合は、必ず医師の診断書を提出のうえ、対応している。
	48	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○			安全計画を作成し、研修や訓練を計画的に行っている。
	49	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○			メール配信にて安全計画の周知を行っている。
	50	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○			ヒヤリハット事例を作成・回覧し、情報共有している。なお、事例については発生の都度、全体会議で報告している。
	51	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○			園全体で研修会を実施し、知識の共有を図っている。また、不定期に会議で取り扱うことで意識づけを図っているほか、外部の研修にも参加している。
52	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、個別支援計画に記載しているか。	○			個別支援計画に記載し、保護者の了解を得たうえで取り扱っている。	

保護者からの事業所評価の集計結果（公表）

公表：令和8年2月16日

事業所名：君津都市広域市町村圏事務組合 児童発達支援センター きみつ愛児園

保護者からのご意見を踏まえ、運営における課題点及び改善点を確認し、今後の運営に生かしていきます。

対象：令和7年11月1日在籍児童60名の保護者57世帯

意見収集方法：各世帯にメール配信によるオンラインアンケート

オンライン回答：49件

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	無回答	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	81.6%	14.3%	4.1%	0.0%	0.0%	・各クラスは広くはありませんが、活動内容に合わせて集会室や訓練室を使い分けたりと工夫をして子供たちがのびのび活動できるよう配慮していただいているように感じています。 ・集会室に滑り台などの遊具があり、雨の日や酷暑の日でも運動が出来るようです。室内遊びが充実しているようで、雨の日でも就寝時間が遅くなることなく、規則正しい生活リズムになりました。	活動内容によって部屋を使い分け、確保できるように行っています。	
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	89.8%	6.1%	0.0%	4.1%	0.0%	・日々きめ細かに対応していただいています。 ・1クラス10名に対し、先生が3名付いていただきとても助かっています。	人員配置基準に従い、職員を確保しています。理学療法士及び作業療法士については、君津中央病院に委託し、月に1回程度来園し、機能訓練上、必要な助言等をいただいています。また、摂食指導については、君津木更津歯科医師会と連携し、親子通園クラスを中心に年4回実施しています。	
	3 生活空間は、この部屋で何をするのがわかりやすいよう、机や本棚の配置など、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、当園の設備等は、障がい特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	83.7%	10.2%	4.1%	2.0%	0.0%		視覚支援を取り入れながら、構造化を行っています。年齢や障がいの特性に応じた療育環境となるよう、引き続き配慮していきます。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	75.6%	22.4%	2.0%	0.0%	0.0%	・建物が古すぎる ・安心して過ごしている様に感じています。 ・教室内は綺麗で清掃も行き届いていると思いますがそもそも建物自体が古いので現代的な生活に合っていない部分はないかなど気になる点はある。 ・活動のお部屋の正面にお手洗いががあるので、暑い時にドアを開けているとドアが匂いが匂いになるので活動のお部屋は出来る限りドアを閉めておいてほしいです。 ・3箇所の児童発達支援事業者を経験して、どの施設も丁寧な療育をされていると感じましたが、愛児園では特に強く先生方の支援力を感じました。	お手洗いの使用時以外は、お手洗いのドアを閉めるようにしています。	
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	96.0%	2.0%	0.0%	2.0%	0.0%	・子供の特性を理解し小さな変化にも気づき、対応を考えてくださったり、成長を共に喜び共有して下さっていることが親子共々の安心に繋がっています。 ・個別療育が実施される度に、おたより帳とは別に報告書をいただきます。ねらい、作業内容の説明、子供の行動過程～結果が写真使用し、細やかに記載されていて、成長と課題を把握することができました。子供が個別療育の時間を楽しみにしているのが何よりだと思います。	保護者との面談や相談（随時）の中で、園児の発達目標を設定し、療育を実施しています。また、園児のクラスでの様子を観察し、おたより帳や電話により支援内容の報告等を行い、保護者及び園児に寄り添った支援を実施しています。専門性の向上については、ポータープログラムなどの研修を受け、職員の向上に努めています。	
	6 当園が公表している支援プログラム（※1）は、きみつ愛児園の提供する支援内容に合っていると思いますか。	93.9%	2.0%	0.0%	4.1%	0.0%			
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、個別支援計画（※2）が作成されていると思いますか。	95.9%	4.1%	0.0%	0.0%	0.0%	・高すぎない、ちょっと頑張れば少しはできるようになるかもしれないというラインの計画を毎回いただいています。子供の発達具合をよく分かって頂いていると感じます。 ・子供の成長スピードや心(気持ち)の変化に寄り添って対応してもらえていると感じる。 ・本人の発達段階や発達課題にきちんと沿っていると思います。	日常生活や保護者とのやり取りの中から、ニーズを確認・分析し、担任とともに、1人ひとりに適した個別支援計画の作成を行っています。	
	8 個別支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	96.0%	2.0%	0.0%	2.0%	0.0%		児童発達支援ガイドラインに従い、個別支援計画を立てています。園児を取り巻く家庭環境や地域社会環境を踏まえ、支援内容に反映するよう心がけています。	
	9 個別支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	98.0%	0.0%	0.0%	2.0%	0.0%		計画に沿った支援となるよう、担任や職員が確認し、必要に応じて計画を見直しながら、支援を実施しています。なお、個別支援計画については、随時、相談に応じています。	
	10 活動プログラム（※3）が固定化されないよう工夫されていると思いますか。	87.8%	2.0%	0.0%	10.2%	0.0%		全体活動・グループ活動・クラス活動と固定化にならないように工夫しています。	
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	77.6%	10.2%	0.0%	12.2%	0.0%	・参加した事がないのでわかりませんが、取り組みとしてはやっていると思います。	受け入れ施設の協力のもと、君津市内の保育園2か所での交流保育を実施しています。	
	保 護 者 へ の 説 明 等	12 きみつ愛児園を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	98.0%	0.0%	0.0%	2.0%	0.0%		入園時に説明しています。入園後も、質問には随時、お答えしています。
		13 「個別支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		個々の支援内容については、計画を作成する際に面談で説明し、同意をいただいています。また、電話でも随時、相談対応を行っています。
		14 きみつ愛児園では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング（※4）等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	77.6%	16.3%	2.0%	4.1%	0.0%	・初めての子どもであること、子どもの特性についてなど不安を感じる事が多い子育てでこれまでは保健師や周りに相談しても「ママの心配しすぎよ」とかわされる事が多かったですが愛児園の先生方は不安や心配ごを伝えると必ず受け止めてくれ、解決方法を一緒に考えてくれたりアドバイスをくれます。それが親としての安心になり子育てへの自信ややる気に繋がっておりとても感謝しています。研修会など行事もあり学びも多いです。 ・研修会などはないですが、おたより帳に困りごとを書くと、子供の気持ちや成長度合いを踏まえての対応策など、丁寧な返事をいただけるので助かりました。	「卒園児保護者講演会」を実施しました。就学から先の就労についてをテーマとし、質問や相談できる場を提供しました。
		15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	・連絡帳のお返事が丁寧で、質問や相談をしやすい空気を感じることが出来ます。アプリ連絡帳ではないので写真などは少ないと思いますが連絡帳を通してクラス全体のごとより個人のことをやり取り出来ていると感じています。	日々やりとりしている「おたより帳」にて、保護者へ園児の様子を伝えたり、保護者から家庭での様子を確認することができています。必要な際は、電話で体調等について伝えており、親子通園クラスについては、都度、保護者とやりとりをしています。
16 個別支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。		93.9%	6.1%	0.0%	0.0%	0.0%	・個別支援のための連絡だけでなく必要だと感じてくださった時などはこまめに連絡をいただけ感謝しています。	定期的に面談を実施しています。また、おたより帳を活用し、日々のやり取りを通じて、家庭での育児不安等に寄り添えるよう、働きかけを行っています。親子通園クラスについては、都度、保護者とやりとりをしています。	
17 職員からお子さまや保護者に対し、感情や状況を理解し、寄り添う姿勢で支援されていると思いますか。		95.9%	4.1%	0.0%	0.0%	0.0%	・理解ある環境で過ごしていることに感謝しています。 ・連絡帳にちょっとだけ書いていたことでも親の不安を感じとって掘り下げて質問を返してくださったりお返事を丁寧に頂けます。質問や相談をしやすい空気を作ってくれますし、場合によってはお電話での連絡をくださったりと本当に丁寧です。	日々のおたより帳を通して、保護者との情報共有を図り、寄り添う支援を実施しています。親子通園クラスについては、都度、保護者とやりとりをしています。	
18 きみつ愛育父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。		59.2%	24.5%	4.1%	12.2%	0.0%	・普段バス通園でなかなか他の保護者と話す機会がないので懇談会や行事で親睦を深める機会がもっと欲しかった。 ・昨年度冬の親子レクは特に他の家族との交流ができず残念だったので、今年度の残りの親子レクでは交流が持てるかと嬉しい。 ・交流機会は少ないとは思いますが、様々な事情で交流自体が負担に感じることもありますし、参観日やレクリエーションなど園イベントなどの行事の時に顔を合わせる機会があるので、各々の自主性にまかせて交流でいいと思います。	卒園児の保護者との交流会を実施しました。日常生活における不安な点や、今後の小学校や特別支援学校生活での不安を、質問や相談できる場を提供しました。	
19 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。		93.9%	4.1%	0.0%	2.0%	0.0%		保護者からの要望については、全体会議などで協議のうえで対応しています。	
20 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。		95.9%	4.1%	0.0%	0.0%	0.0%		園児に対しては、言葉とともに、身振りや絵カードなどを使った視覚支援を行っています。保護者へはメール配信をし、園内での感染症情報などの情報を迅速に伝達しています。	

	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	71.5%	16.3%	2.0%	10.2%	0.0%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行事のお便りを貰えることはありがたいが十分とは言えない。普段の活動の様子を見る機会がほとんどない為もっと写真を見たい。</li> <li>・お便り帳では毎日の出来事を伝えていただいておりますが、可能ならばホームページなどでもっと活動の様子を写真で見られたら嬉しいです。</li> </ul>	クラスだより（年3回発行）や、行事ごとにクラス活動を写真に交えて保護者にメール配信し、様子をお知らせしています。しかし、活動の様子の配信が不十分なお意見もございましたので、作業の分散化及び担当職員の整備をし、改善に努めてまいります。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	96.0%	2.0%	0.0%	2.0%	0.0%		個人情報については、条例等に基づき、十分注意して取り扱っています。
非常時等の対応	23	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	93.9%	0.0%	0.0%	6.1%	0.0%		業務継続計画（自然災害及び感染症）を策定し、職員向けの訓練を実施しました。
	24	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	91.8%	4.1%	0.0%	4.1%	0.0%		月に一度、火災や地震を想定し、園児全員と園舎から園庭などへ避難させる避難訓練を実施しています。また、年齢に対応した非常食を備蓄しています。
	25	きみつ愛児園では、こどもの安全を確保するための計画について周知されるなど、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	91.9%	2.0%	0.0%	6.1%	0.0%		「年間の安全計画」を保護者へメール配信し、お知らせしています。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、きみつ愛児園から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	91.8%	4.1%	0.0%	4.1%	0.0%		速やかに保護者へ連絡しております。急なお迎えをお願いする際は、担任から直接、状況説明や体調の様子を伝えるように努めています。
満足度	27	子どもは安心感をもって登園していますか。	98.0%	2.0%	0.0%	0.0%	0.0%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いつもバスが来ると喜んで乗っていく。帰ってきたときも楽しそうな笑顔で帰ってくる。</li> <li>・先生達が大好きで、〇〇先生がいるから大丈夫。と安心しております。</li> <li>・安心できる居場所になっていると感じます。</li> <li>・4～5月は行き渋りがありましたが、先生方のおかげで慣れてからは毎日楽しく登園しています。</li> <li>・休みの日も愛児園と言うほど、大好きです。</li> </ul>	今後とも、園児及び保護者に寄り添った療育を実施して参ります。
	28	子どもは「きみつ愛児園」への登園を楽しみにしていますか。	89.8%	4.1%	0.0%	6.1%	0.0%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・朝は自分から「学校に行く。」と支度を始め、帰ってきた後は、今日の出来事をお話してくれて、「楽しかったよ～」と言ってきています。</li> <li>・毎日いきいきと元気に登園させてもらっています。笑顔で安定した毎日に繋がっていると思います。</li> <li>・土日に「愛児園に行きたい！いつ行くの？」と言うことがあり登園を楽しみにしていると感じる。</li> <li>・毎日イキイキ家を出発して、ご機嫌で帰ってきます。こちらから質問する前に「今日も楽しかった！」と自分の気持ちを言葉に出来るようになって胸がいっぱいになりました。</li> <li>・毎日笑顔で、園に行くのを楽しみにしています。バスも大好きです。</li> </ul>	発達支援を第一としながらも、お子様に園を楽しみにしてもらえよう、今後も支援内容を工夫していきます。
	29	「きみつ愛児園」の支援に満足していますか。	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子供は楽しく通っているし、親としても安心して預けている。今年度で終わってしまうのがとても寂しい。</li> <li>・いつも本当にありがとうございます。入所当時はどうなるんだろう、ご迷惑おかけないだろうかと思っていた子供の笑顔と言葉が日々増えていき、またできることが少しずつ増えていくのがとても嬉しいです。</li> <li>・スタッフや先生方は皆とても親切でした。子供に少しずつ成果が現れてきています。本当にありがとうございます。</li> <li>・大切な時期に3年間まるまる愛児園で過ごせたことに感謝しています。前事業者の職員さんが進めてくれなければ選択肢に挙がってくるまでに時間がかかったと思うので、そこにも大きく感謝しています。</li> <li>・先生方には大変感謝しています。</li> <li>・入園して出来るようになったことが本当に増えました。先生方への感謝が尽きません。愛児園がなくなってしまうし、来年度から大丈夫かなと不安になることもありません。</li> <li>・半年ちょっとした通園でとても成長しました。性格も明るくなったような気がします。おかげで親も以前より優しく、かつ余裕を持って接すること出来るようになりました。愛児園に通園出来て本当に良かったです。いつもありがとうございます。</li> <li>・愛児園に入園することができて、本当に良かったです。入った当初に比べると、ビックリするほど成長して、先生方には感謝の気持ちでいっぱいです。</li> </ul>	アンケート結果を踏まえて、よりよい施設となるよう努めて参ります。職員の療育に対する知識・技能の向上のための研修への参加や、園児の興味がさらに広がるような療育支援の実施など、保護者からの信頼をより得られるよう、園や家庭の様子を共有していきながら、今後とも努めて参ります。来年度への意見もございしますが、並行運営等を通じて、不安なく移行できるように行って参ります。